

# 1-9

## にこやかくらぶ (逆デイサービス) の実施

家庭の雰囲気味わうにこやかな時間

自立支援

新しい発見

特別養護老人ホーム 山吹の里

ケアワーカー 山口 久美子

ケアワーカー 齋藤 美智子

東京都豊島区高田3-37-17

TEL 03-3981-5051

E-mail yamabuki\_jimu@ybb.ne.jp

FAX 03-3981-5061

URL <http://www.frontier-toshima.or.jp>

今回の発表の施設  
またはサービスの  
概要

社会福祉法人フロンティア豊島が経営する特養です。平成元年開設。入所者82名、ショートステイ8名。デイサービス・訪問介護・ケアプラン相談センターを併設。太田道灌ゆかりの山吹の碑・面影橋が近く交通の便が良いところにあります。

### 〈取り組んだ課題〉

- ・ まず第一に、家庭の間取りや家具のある部屋で、食事準備の音を聞いたり作業することで、現役で家事をしていた頃の生活を思い出し、意欲向上につながり、生活にハリをもたらします。

### 〈事前準備〉

- ・ すでに逆デイサービスを行っている法人内の施設への研修
- ・ 職員宅への見学と相談
- ・ 材料費・会場費等の自己負担金について
- ・ 交通手段の調整
- ・ 参加利用者の状態の把握
- ・ 食器、上履き(スリッパ代わり)の購入

### 〈具体的な取り組み〉

平成18年10月より開始する

〈場所〉 区内の職員宅 3階

〈利用者〉 3階まで昇降可能な方(3名~5名)

基本的にはメンバーは固定

〈職員〉 2名(うち1名は家主)

〈活動日・時間〉

第2・第4金曜日 13時半~17時

〈活動内容〉

- ・ 近所のスーパーに寄り、材料を買いおやつ作り
- ・ 団楽の時間(会話・簡単な体操・歌・活動日記の作成など)

〈交通手段〉当初は、サービスセンターのバス、帰りは都電であった。現在は往復、サービスセンターのバスを利用。

- ・ 平成19年6月8日現在、16回実施、参加利用者4名~5名、のべ63名が参加。

### 〈活動の成果と評価〉

- ・ 利用者を固定することで活動が習慣化した。
- ・ 利用者の得意分野を引き出すことでリーダーシップをとる利用者が出てきた。
- ・ 当初、何をしたいかわからなかった利用者も、回数を重ねることにより積極的かつ落ち着いて取り組めるようになった。
- ・ 違うフロアーの利用者であるにもかかわらず同じ時間を過ごすことで会話が弾み、普段とは違った表情がみられた。
- ・ 次回を楽しみにする利用者が増え、自発的にメニューを提案するようになった。
- ・ 施設や集会場ではなく、民家を利用していることで家庭ならではの雰囲気味わうことができた。
- ・ 職員にとっては、利用者と一緒に、おだやかな時間を過ごし、じっくり向き合うことで施設では引き出せない能力を引き出し、利用者の新たな発見ができた。
- ・ 東京新聞、TBS ラジオで紹介された。

### 〈今後の課題〉

- ・ 職員だけではなく地域の方々やご家族も参加していただき地域交流の促進
- ・ 車椅子の利用者が参加できる逆デイサービスの実施
- ・ 逆ディに参加できない利用者への精神的ケアとして、施設内で行うお菓子作りのクラブの設置
- ・ 料理作り以外の楽しみの拡大と、施設行事などで日頃の成果を知ってもらい、また発揮できる活動の場の提供(行事等で作った料理を販売予定)